



〔中期計画策定に伴う意見書〕

＜新温泉町の自然を生かした町づくりの概要について＞

新温泉町は海あり、温泉あり、高原ありで四季のはっきりとした豊かな自然資源を有しています。中でも扇ノ山山系に位置する上山高原は、一帯をまるごと博物館とし、自然と共生していくことへの意義・面白さを体験できます。又日本海に面した海岸は、山陰海岸国立公園に指定され、起伏にとみ奇岩、洞門、洞窟が多く風光明媚な景観です。この海岸のもつ地質的、文化的に貴重な自然資源を地域経済の活性化と環境保全、さらには環境教育の推進につなげていくため、ユネスコ世界遺産・ジオパーク認証取得に向け調査、研究を進めています。このような我が町の豊かな自然と資源を共有し広く知っていただくため、「人」と「物」を速く、移動・輸送させる交通のインフラとして、自動車道の果たす役割は大きく早期整備が何よりも急がれます。

●今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

- (1) 但馬地域の活性化のために北近畿豊岡自動車道の早期供用開始を望む。

- (2) 山間部における幅員狭小や線形不良区間が冬期降雪時に通行不能とならない雪道に強い道路構造及び雪崩対策等の道路整備を望む。
- (3) 地球温暖化の影響で異常気象が多発する中、災害に強い道路整備を望む。
- (4) 住居地域及び通学路等で弱者が安心して利用できる歩道整備及びバス停の整備を望む。
- (5) 道路構想段階で広く地域住民等の意見（住民参加型）を基にした計画と実施を望む。
- (6) 道路計画に際し、地域特性にあった弾力的な道路構造基準の検討を望む。

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- (1) 沿道の地域住民の利便性向上と大気汚染等の改善・安全対策を怠らないよう望む。
- (2) 自然環境や生態系及び地域の特性に配慮した道路整備を望む。

3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

- (1) 建設コストが高額となるトンネル、橋梁等の重要構造物につい

て点検・維持補修の義務化（法整備）を行い構造物の延命化を図る。又点検評価システムを導入し更新費用の軽減を行う。

(2) 交通規制は社会及び地域に与える影響が大きいため、交通規制等を少なくし、リダンダンシーの検討を含めた新技術の開発を望む。

(3) 試験的に計画、実施、維持管理を民間の資金や経営ノウハウを活用したPFIの導入を検討されたい。

国土交通省道路局長 様

平成19年5月7日

新温泉町長 馬場 雅

